

HOME » ニュース » 性能アップ期待 セラミックスに窒素結合成功

## ニュース NEWS

### 性能アップ期待 セラミックスに窒素結合成功

セラミックスに窒素原子を取り込ませた機能性材料を作り出す方法を京都大学のグループが開発しました。セラミックスは金属を焼いて酸素と結合させた材料でコンデンサや磁石、電池などに使われています。京都大学工学研究科の陰山洋教授らの研究グループはこれまで、セラミックスに水素化カルシウムを混ぜて加熱し、結晶中の酸素原子の2割を水素原子に置き換えることに成功していました。今回、この材料をアンモニアで350℃から500℃の温度で加熱し、水素原子をアンモニアの窒素原子と置き換えることに成功しました。性能アップや新たな特性を持たせるため、窒素と結合させる方法の開発が期待されていましたが、合成が困難だったということです。今後、パソコンや携帯端末のメモリー、太陽光電池など多様な材料の機能性の向上につながるかと期待されます。

日時: 2015年10月20日 18:00